

## 賢い選択をしよう！

「さあ、天と地の証人です。どちらを選びますか。

生きることですか、それとも死ぬことですか。祝福ですか、それとものろいですか。

もちろん、あなたがたのためにも子孫のためにも、生きるほうを選ぶべきです。

神様はあなたがたのいのちです。神様を愛し、信頼し、ご命令に従いなさい。そうすれば、

ご先祖アブラハム、イサク、ヤコブに約束された国で安心して暮らせます。」

(申命記 30:19, 20 リビング訳)

### <賢い選択をするために>

#### 1. いつも 謙遜で教えられやすい心 を持つ事です。

(箴言 1:7~10) 主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。

わが子よ、あなたの父の訓戒に聞き従え。あなたの母の教えを捨ててはならない。

それらは、あなたの頭の麗しい花輪、あなたの首飾りである。わが子よ、罪人たちがあなたを惑わしても、彼らに従ってはならない。

(箴言 13:20 リビング訳) 知恵のある人のそばにいれば知恵ある人になり、悪人のそばにいれば悪に染まります。

#### 2. 自分自身を 正しい基準に合わせる 事です。

(詩篇 19:7, 8) 主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、主のあかしは確かで、

わきまえのない者を賢くする。主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

(詩篇 119:35, 36 リビング訳) 私に正しい道を歩ませてください。それがどれほど喜ばしいことか、

よく存じていますから。金もうけより、従順の道を選び取らせてください。

(詩篇 119:59, 60 リビング訳) 私は、知らぬ間にまちがった方向に進んでいる自分に気づき、

あわてて引き返し、神様のもとに駆け込みました。

#### 3. 自分の思いが 肉の思い なのか 御霊の思い なのかよく吟味することです。

(ローマ 8:6~8) 肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。というのは、

肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。

肉にある者は神を喜ばせることができません。

(1ヨハネ 2:16, 17) すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きのおぼえなどは、

御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。世と世の欲は滅び去ります。

しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。

## 賢い選択をしよう！

「さあ、天と地の証人です。どちらを選びますか。

生きることですか、それとも死ぬことですか。祝福ですか、それとものろいですか。

もちろん、あなたがたのためにも子孫のためにも、生きるほうを選ぶべきです。

神様はあなたがたのいのちです。神様を愛し、信頼し、ご命令に従いなさい。そうすれば、

ご先祖アブラハム、イサク、ヤコブに約束された国で安心して暮らせます。」

(申命記 30:19, 20 リビング訳)

### <賢い選択をするために>

#### 1. いつも 謙遜で教えられやすい心 を持つ事です。

(箴言 1:7~10) 主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。

わが子よ、あなたの父の訓戒に聞き従え。あなたの母の教えを捨ててはならない。

それらは、あなたの頭の麗しい花輪、あなたの首飾りである。わが子よ、罪人たちがあなたを惑わしても、彼らに従ってはならない。

(箴言 13:20 リビング訳) 知恵のある人のそばにいれば知恵ある人になり、悪人のそばにいれば悪に染まります。

#### 2. 自分自身を 正しい基準に合わせる 事です。

(詩篇 19:7, 8) 主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、主のあかしは確かで、

わきまえのない者を賢くする。主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

(詩篇 119:35, 36 リビング訳) 私に正しい道を歩ませてください。それがどれほど喜ばしいことか、

よく存じていますから。金もうけより、従順の道を選び取らせてください。

(詩篇 119:59, 60 リビング訳) 私は、知らぬ間にまちがった方向に進んでいる自分に気づき、

あわてて引き返し、神様のもとに駆け込みました。

#### 3. 自分の思いが 肉の思い なのか 御霊の思い なのかよく吟味する事です。

(ローマ 8:6~8) 肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。というのは、

肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。

肉にある者は神を喜ばせることができません。

(1ヨハネ 2:16, 17) すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きのおぼえなどは、

御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。世と世の欲は滅び去ります。

しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。